



平成27年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社ワイヤレスゲート
 代表者名 代表取締役CEO 池田 武弘
 (コード番号：9419)
 問合せ先 取締役CFO
 執行役員管理本部長 小島 聡
 (TEL. 03-6433-2045)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年10月15日開催の取締役会において、平成27年2月12日公表の平成27年12月期通期連結業績予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 12,472	百万円 1,350	百万円 1,348	百万円 856	円 銭 84.53
今回修正予想（B）	11,259	961	956	607	59.62
増減額（B－A）	△1,212	△388	△392	△248	
増減率（％）	△9.7	△28.8	△29.1	△29.0	
（参考）前期連結実績 （平成26年12月期通期）	9,105	794	789	499	49.28

2. 修正の理由

①売上高

ワイヤレス・ブロードバンド事業につきましては、収益基盤であるWiMAXサービス及びWi-Fiサービスがほぼ当初の予想どおり順調に推移する一方で、新規事業である個人向けSIMサービスが当初の予想を下回る見通しとなりました。ワイヤレス・プラットフォーム事業につきましては、ほぼ当初の予想どおり推移しており、その他事業は、機器販売が当初の予想を下回る見通しとなる一方で、当初の予想に織り込んでいなかった訪日旅行者向けSIMサービスや法人向けM2M/IoTサービスにおける販路の拡大や潜在クライアント先の増加などが順調に推移し、売上高の増加に貢献しております。

個人向けSIMサービスについては、音声通話プランの提供開始時期が遅れたこと、他業種を含む新たな事業者の参入が相次ぎ、新規顧客の獲得や通信速度の最高値競争が過熱しており、会員数の獲得等が想定を下回って進捗しております。

②利益面

利益面につきましては、主に上記の理由による売上高の減少により、前回予想を下回る見通しであります。特に個人向けSIMサービスの原価等の最適化に努めつつ、並行して他社との差別化の源泉であるWi-Fiの強化を推進して参ります。個人向けSIMサービスの新規会員の増加に向けた販売促進などに積極的に取り組んでまいります。

また、訪日旅行者向けSIMサービス、法人向けM2M/IoTサービス、Wi-Fiインフラ事業においても販路やクライアントの拡大に努めてまいります。

このような状況を踏まえ、個人向けSIMサービスにおける当初予想と見通しとの乖離が大きいことから、前回予想値を修正いたします。

③今後の対策について

Wi-Fi分野をさらに強化した当社独自のサービスコンセプトをより前面に打ち出すことで競合他社との差別化を図るとともに、各サービスプランの利益率を向上させることで早期の収益向上に努めてまいります。

なお、本日「フォン・ジャパン株式会社の株式取得及び業務提携に関するMOU締結に係る決議のお知らせ」を公表しておりますが、本件が平成27年12月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。今後の業績に与える影響につきましては、来期以降の業績予想に織り込んでまいります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上